

平成20年度予算で 重点的に取り組む施策

1. 大阪市の現状

市の情報が市民に
行き届いていない

5兆円を超える
市債残高

市民の経済力が
低迷を続けている

官と民の壁
などなど

大阪のポテンシャルが
活かされていない

大阪に漂う閉塞感・・・

市民のアイデアとパワーを活かして
大阪を明るく元気に！

2. 平成20年度予算の重点施策

市民が主役の”元気な大阪”をめざして、
『3つの元気づくり』を進めます

こどもが元気！

地域が元気！

**そして、
大阪が元気！**

“3つの元気づくり”を支える基礎として…

市民が主役の市政運営

着実な行財政改革

3. 《こどもが元気！》 現状と施策の方向性

現状

◎こどもを取り巻く環境の変化

- ・核家族化、少子化の進行
- ・親の育児不安
- ・ライフスタイルの変化
- ・生活コミュニティの変化 など

◎こどもが健やかに育つ上での不安要素

- ・からだの不安(体力・基礎的運動能力の低下など)
- ・こころの不安(向上心の低下、ひきこもり、キレやすいなど)
- ・社会性の不安(対人関係能力の低下、いじめなど)

【参考】全国平均を下回る
合計特殊出生率(人)

	全国	大阪市
昭和 60	1. 76	1. 59
平成 17	1. 26	1. 16
平成 18	1. 32	1. 22

施策の方向性

- ◎子育てを支える仕組みの充実
- ◎こどもの「生きる力」の育成
- ◎確かな学力を身につける教育の充実
- ◎中学校昼食など「食育」の推進

こどもが元気！

3. 《こどもが元気！》平成20年度 主な事業 ①

◆保育所の待機児童解消対策

23億 4,800万円

21年度末に待機児童の解消を図るため、様々な手法による受け入れ枠の拡大
(20年度定員増 1,591人分)

◆乳幼児医療費の公費負担の拡充

41億 4,000万円

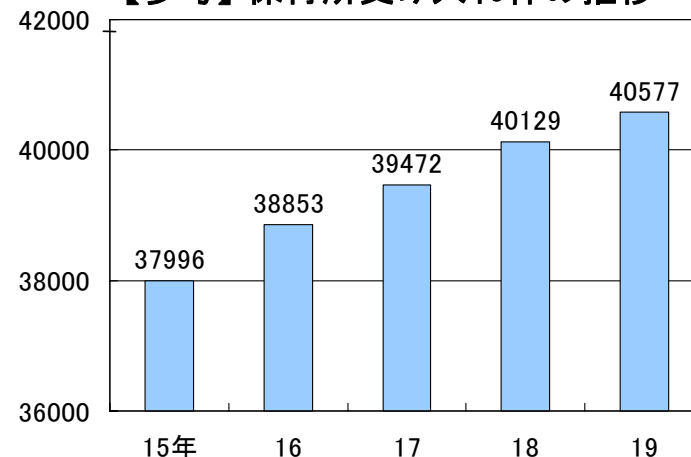
入院 小学校 3年生修了まで
→ **新** 小学校修了まで
通院 義務教育就学前まで

◆妊婦一般健康診査公費負担の拡充

6億 7,500万円

健診助成 2回 → **新** 7回

【参考】保育所受け入れ枠の推移



3. 《こどもが元気！》平成20年度 主な事業 ②

◆こどもの創造性を育む豊富な体験機会の提供

3,200万円

- ・こども 夢・創造プロジェクト事業
企業等と協働して小・中学生が優れた人材と交流する
体験プログラムを実施
- ・「未来の創業者・未来のロボット技術者」育成事業



◆中学校昼食事業

1億 3,500万円

新

- ・弁当を持参できない生徒に、衛生面・栄養価を考慮した昼食を提供(2校→38校)
- ・弁当持参の支援や食に関する指導の充実
親子弁当教室の開催や弁当レシピ集の配布など
- ・給食廃止に伴う経済的負担の軽減(12校において、1年間限定で実施)

◆新 中学校における選択制給食の検討

100万円

4. 《地域が元気！》 現状と施策の方向性

現状

◎NPOやボランティアに関心のある市民は多い

- ・非常に興味がある 10%
 - ・ある程度関心がある 54%
- 64%の市民が関心

(平成17年度「市政モニターアンケート」)

◎地域では様々な取り組みが芽吹きつつある

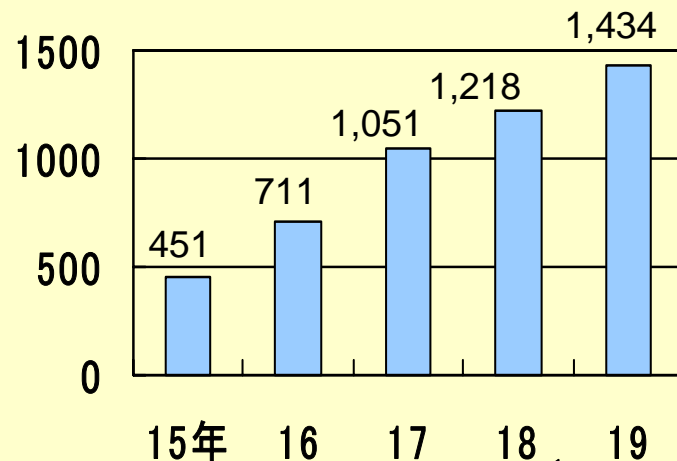
- ・種から育てる地域の花づくり支援事業

5区53団体が参加 (19年8月時点)

- ・学校運動場の芝生化

住民主体の実行委員会等で実施 小学校16校(20年1月時点)

【参考】市内のNPO法人数



施策の方向性

◎自立的な市民活動への支援 など市民協働の取組み

◎区の創意工夫による事業や 特色のある地域づくり

◎地域福祉の着実な推進

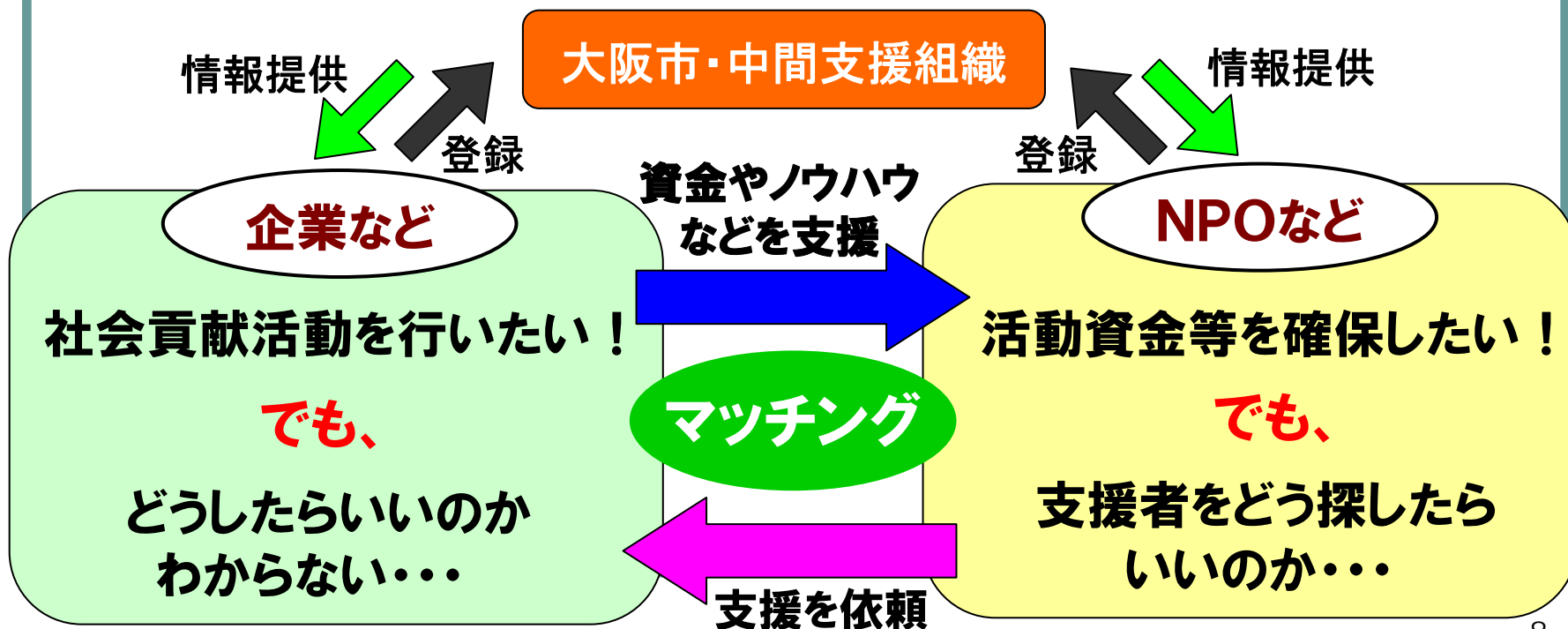
地域が元気！

4. 《地域が元気！》平成20年度 主な事業 ①

◆ 新 地域貢献活動を支援するための効果的な仕組みの構築 1,400万円

- ・企業等と支援を求めるNPO等をつなぐマッチングシステムを構築
- ・NPO等が行う地域貢献活動に対する助成を行うため、クリック募金システムを導入

【参考】マッチングシステムのイメージ



4. 《地域が元気！》平成20年度 主な事業 ②

◆区の創意工夫による事業や個性と特色ある事業の実施 4億 8,200万円

- 新** ・自転車利用適正化事業「トライアルプラン」(東成区ほか9区)
- 新** ・共通の水辺空間を利用した三区まちづくり事業(三区物語)
(西区、大正区、浪速区)
- ・種から育てる地域の花づくり支援事業(都島区ほか11区)

など



4. 《地域が元気！》 平成20年度 主な事業 ③

◆学校の緑化モデル事業

2,900万円

運動場の芝生化

小学校 12校

新

校舎等の壁面緑化(みどりのカーテン)

小学校 12校



5. 《そして、大阪が元気！》 現状と施策の方向性

現状

◎大阪市は多くの利点を持つ都市であるが、それを十分に活かせていない

- ・多様な業種にわたる約20万の事業所が集積、面積当たり密度は東京都区部を上回る
 - ・NPO法人数は東京都区部に次いで多く、指定都市では一番多い
 - ・高密な鉄道網など充実した交通インフラ
- など

◎そうした中で、具体的な成果が出てきている分野もある

【例】RooBO（次世代ロボット開発ネットワーク）

設立当初（16年） 参加 37名（33社） → 20年2月現在 332名（297社）

施策の方向性

◎官民一体での大阪ブランドの強化

◎企業・大学・NPO等と連携した産業の育成・支援

◎芸術や文化などで高い評価を受けることのできる人材の育成

そして、
大阪が元気！

5. 《そして、大阪が元気！》平成20年度 主な事業①

◆企業・大学等の総合的な誘致

20億 9,600万円

・都市再生重点産業立地促進助成

新 ・大阪進出企業ネットワーク構築事業

新 ・大阪進出有望企業等の誘致集積検討調査

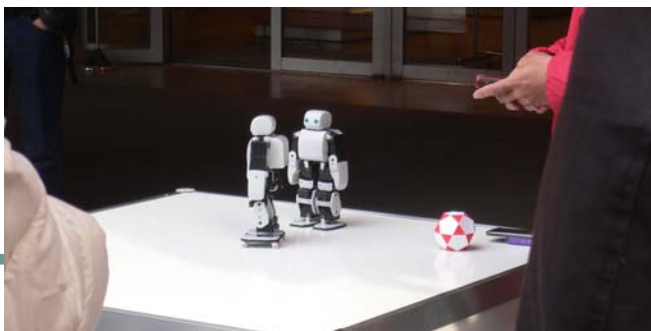
新 ・在阪企業の定着に向けた課題別研究会の開催 など

◆次世代ロボットテクノロジー産業創出事業

1億 7,700万円

新 ・市場化のための実証実験など

商店街や医療機関など人の集まる場所でロボットの導入試験



など

5. 《そして、大阪が元気！》平成20年度 主な事業②

◆水都大阪ブランドの確立

8億9,500万円

・水都大阪2009の開催準備 21年8～10月開催予定

新 ・舟運活性化促進と情報発信事業

新 ・(仮称)川と海をつなぐ大阪水都観光交流促進事業の実施

区役所・民間企業が連携して行うイベントをクルージングでつなぎ、
ベイエリアの魅力をPR

など



※イメージ図



※イメージ図

6. “3つの元気づくり”を支える基礎として

《市民が主役の市政運営》

◎市民の市政への参画

◎わかりやすい情報公開と広報・広聴機能の充実

《行財政改革の着実な実施》

7. 《市民が主役の市政運営》 平成20年度 主な事業

◆ 新 情報公開室の設置

市民の目線に立ったガラス張りの市政を進めていくためのエンジンとして
透明性の高い公正な市政運営を推進

◆ 「(仮称)なにわ元気アップ会議」の開催 500万円

市長が市民グループを招いて行う懇談会 12回

市長が地域の活動場所を訪問して行う懇談会 24回

(参考)18年度実績 「市長とふれあいタイム」15回 「気軽にトーク」2回

◆ 新 市民が主役のまちづくりに向けた研究 600万円

市民が主役のまちづくりの機運の醸成に向け、市民との意見交換や
公開フォーラムを開催 など

8. 《行財政改革の着実な実施》 平成20年度 主な事業

◆ 新 事務事業の点検・見直し手法の確立 500万円

効率的・効果的な行政サービスの提供に向け、事務事業の点検・見直しのための手法を調査・検討のうえ、最適な手法を確立

◆ 新 (仮称)総務事務センターの稼働 9億 6,300万円

人事・給与・旅費等の共通管理業務について、簡素化・集約化を推進
稼働予定 20年10月

◆ 歳入確保に向けた取り組みの強化 2億 6,900万円

新 (仮称)大阪市債権回収対策会議の設置

新 (仮称)市債権回収特別チームの設置

新 納税推進のための民間オペレーターの活用 など

など